防災・減災対策
推　進　本　部

道の地震津波対策

資料1

東日本大震災を踏まえた再検討

太平洋

- 断層モデル[国:R2.4]
- 津波浸水想定[R3.7]
- 被害想定[国R3.12]
- 被害想定[R4.7]
- 推進基本計画［国R4.9]
- 減災計画［R5.2]

日本海

- 断層モデル[国:H26.8]
- 津波浸水想定[H29.2]
- 被害想定[R7.6]
- 減災計画　未

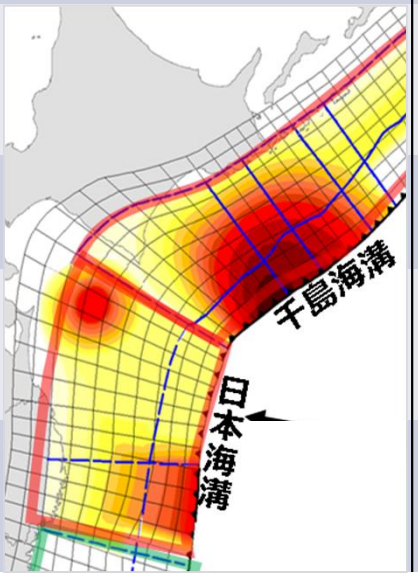
オホーツク海

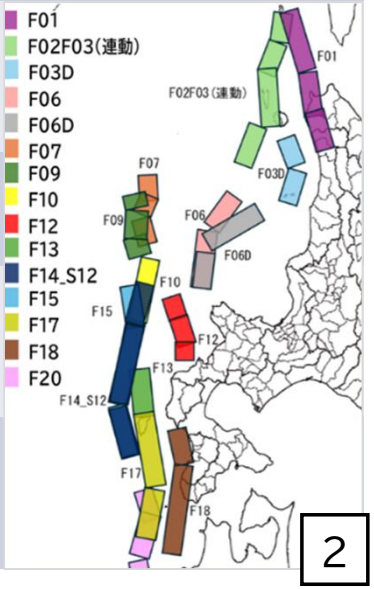
- 断層モデル[R5.2]
- 津波浸水想定[R5.2]
- 被害想定　未
- 減災計画　未

被害想定の概要

資料1

区分	太平洋	日本海
公表年月	Ｒ４．７	Ｒ７．６
最大死者	日本海溝　約１４９，０００人	Ｆ１７　約７，５００人 （渡島半島西側）
発生確率 （３０年以内）	千島海溝巨大地震　７～４０％	日本海東縁部　ほぼ０～０．１％
地震の種類 （震源）	海溝型（２震源域）	断層型（１５断層）
最大地震規模	Ｍ９．３程度	Ｍ７．９程度
最大津波高	２６．５ｍ （釧路町）	２６．９ｍ （せたな町）
対象市町村	３８市町 （羅臼～松前）	３３市町村 （稚内～松前）





地震津波対策に係る当面の取組

資料1

太平洋

●**減災計画に基づく取組** →ハード・ソフト事業など**180の対策**

〔減災目標：想定死者数を10年間で8割減〕

●**緊急事業計画に基づく取組** →対象39市町のうち**16市町が策定済**

〔特措法により国補助1/2→2/3
道も市町村負担の1/2超を補助〕

釧路町 津波避難タワー

浜中町 人工高台

日本海

●**減災計画の策定** →**防災・減災対策推進本部**による**対策の取りまとめ**

道防災会議減災WGによる検討

オホーツク海

●**被害想定の検討** →道防災会議減災WGによる検討